【ロビンフッドCEO】ドージコインが未来の通貨になるか

原文:
https://www.btcc.com/ja-JP/academy/research-analysis/robinhood-doge-220415

Google Playで手に入れよう　　App Storeからダウンロード
日本ユーザー様限定特典（10,055USDTギフトパック）《《《

ロビンフッドCEO、ツイッターでドージコイン（DOGE）を語る

米大手投資会社ロビンフッドのCEOであるVlad Tenev氏は、ドージコイン（DOGE）が 「インターネッ

トの未来通貨 」になる可能性があると主張した。

ドージコイン（**DOGE**）がインターネットと人々の両方の通貨になる可能性について、ロビンフッドのCEOは14日に投稿されたツイッターのスレッドで説明した。Tenev氏は12件の投稿からなるスレッドでその可能性を論じ、その後、暗号資産（仮想通貨）コミュニティの注目を集めた。

ロビンフッドのユーザーはアプリでアルトコインのドージコイン（DOGE）を受信・送信できるようになり、これがきっかけでTenev氏は暗号資産の将来について考えるようになった。同氏はまず、取引手数料を小さくする必要性から始めたが、これはすでに実現されている。Tenev氏はツイートの中で、昨年11月の1.14.15アップデート以降、典型的な取引手数料が0.0003ドルになったことを明らかにした。同氏は、この比較的低い取引手数料を、いくつかの主要なカードネットワーク（1ドルから3%のネットワーク手数料まで）と比較した。

さらにTenev氏は、理想的なブロックタイムの速さについても言及した。同氏によると、ブロックタイムは、問題のトランザクションがすぐに次のブロックに記録されるように高速であるべきだという。ロビンフッドの管理者は、これによってPOS端末での支払いに必要な時間よりも短い時間で済むと述べた。

ドージコイン（DOGE）が 「インターネットの通貨 」になる可能性

しかし、ブロックタイムが速すぎて、採掘者が競合するブロックチェーンをたくさん作り始めるようではいけないと警告している。そうすることで、大量のエネルギーの浪費を避けることができる。**Tenev氏は、ドージコイン（DOGE）のブロックタイムを現在の1分ではなく、10秒にすることを提案した。**ブロックタイムが数秒ということは、デビットカードの取引を完了するよりも短い時間ということになる。また、ブロックサイズ1MB、ブロックタイム1分の場合、ドージコイン（DOGE）のスループットは1秒間に約40トランザクションであることを指摘した。

「比較として、Visaのネットワークは理論上65,000tpsを処理することができる。これに対してVisaのネットワークは理論上65,000tpsを処理できる。ドージコイン（DOGE）はVisaを大きく上回る必要があり、それには少なくとも10000倍以上のスループット向上が必要。幸い、これはブロックサイズの上限を上げるだけで簡単に解決できる。ブロックサイズの上限を1GB（後に10GB）にすることで、グローバル通貨が当面必要とするすべてのスループットを提供することができる。L2ソリューションは、この問題を解決するために必要ではない」と付け加えた。

関連：VISA、NFTサポートプログラムを実施開始

Tenev氏は、ドージコインがインフレであり、無限に供給されるとも批判している。ドージコイン（DOGE）とは異なり、ビットコイン（**BTC**）の供給量は2100万枚と限られたが、ドージコイン（DOGE）現在の供給量は約1320億枚で、毎年50億枚のDOGEが新たに生み出されている。最後に、Tenev氏はドー

ジコイン（DOGE）の開発者に対し、暗号資産のブロックサイズの上限を引き上げるよう促した。

関連：4ステップでビットコインの買い方をわかりやすい解説

ロビンフッドの管理者によるこのスレッドは、ドージコイン（DOGE）の開発者であるJackson Palmer氏が**イーロン・マスク氏のツイッター（NYSE: TWTR）社の買収**を攻撃する声明を発表した数時間後に登場した。Palmer氏は、マスク氏が「最大の公共ソーシャルメディアプラットフォームの1つを私有化することを強要している」と述べた。

関連：イーロン・マスク氏、ツイッターの取締役への就任決定を撤回

【他の記事】

NFTに関する米国の規制を解説

メタバースがもたらす教育方法のメリット・デメリット

仮想通貨市場が急伸傾向につれ、DeFiトークンも上昇トレンド

モルガンスタンレー、イーサリアムのリスクについて警告

仮想通貨の需要高騰に対する企業の対応方法